

PROFILE

基調講演・パネリスト

筧 裕介

KAKEI Yusuke

issue+design代表・慶應義塾大学大学院特任教授

一橋大学社会学部卒業。東京大学大学院工学系研究科修了(工学博士)。

2008年ソーシャルデザインプロジェクトissue+designを設立。以降、社会課題解決のためのデザイン領域の研究、実践に取り組む。

代表プロジェクトに、東日本大震災のボランティアを支援する「できますゼッケン」、妊娠・出産・育児を支える「親子健康手帳」、300人の地域住民とともに未来を描く「みんなで作る総合計画」、認知症とともにより良く生きる未来をつくる「認知症未来共創ハブ」、他。

GOOD DESIGN AWARD 2019 BEST100「SDGs de地方創生」カードゲーム開発者。日本計画行政学会学会賞奨励賞、グッドデザイン賞、D&AD(英)他受賞多数。

著書に『ソーシャルデザイン実践ガイド』、『人口減少×デザイン』、『地域を変えるデザイン』、『持続可能な地域のつくり方』など。



司会

村田 綾

MURATA Aya

俳優・タレント

さいたま市出身、さいたま市在住の俳優、タレントとして幅広く活動。「さいたま観光大使」「ちいきデビューひっぱりガールズリーダー」「埼玉県防犯スペシャルサポーター」「恋たまキューピッド」等を務める。近年では、映画・CM・舞台で活躍する他、MCやレポーター等でさいたまの魅力を発信している。



パネリスト



内田 奈芳美

UCHIDA Naomi

埼玉大学大学院
人文社会科学部研究科教授

石川県金沢市での文化のまちづくりや、都市の“ほんものさ”について研究。

現在はアーバンデザインセンター大宮(UDCO)副センター長として、大宮駅周辺における産官学民の連携によるまちづくりに関わる。



作山 康

SAKUYAMA Yasushi

芝浦工業大学システム理工学部
環境システム学科教授

千葉県柏の葉における公・民・学の連携によるまちづくりに携わる。

都市計画を軸にしながら他分野との横断的研究により、都市・環境・空間の新しいシステムの開発を通じて魅力的な空間構成と土地利用、実社会に役立つ実践的な都市計画の研究を続けている。



山田 香織

YAMADA Kaori

盆栽家・清香園5代目家元

NHK Eテレ「趣味の園芸」の元キャスターなどを務める。伝統的な盆栽を尊重しつつ、若い人にも親しみやすい彩花盆栽を提唱している。

彩花盆栽教室で多くの生徒に指導を行うかたわら、盆栽文化をより多くの方に知ってもらうため、多方面で活躍中。

さいたま市では、21世紀半ばを見据え、これからの10年に本市が取り組む都市づくりの総合的な指針として、新たな総合振興計画「2030さいたま輝く未来と希望のまちプラン」を策定しました。

計画書の内容は、市ホームページや各区役所の情報公開コーナーでご覧いただけます。



このシンポジウムの開催に要する費用は、2,930,000円(概算)です。